

北海道室蘭市トッカリシヨ海岸におけるココヤシの漂着

圓谷 昂史¹・鈴木 明彦²

Stranding record of *Cocos nucifera* L. on Tokkarisho beach of Muroran City, Hokkaido

Takafumi ENYA¹ and Akihiko SUZUKI²

2014年5月2日、北海道胆振管内にある室蘭市トッカリシヨ海岸でココヤシ *Cocos nucifera* L. を発見した (Fig. 1). これまで、北海道におけるココヤシの漂着は、日本海沿岸の各地、太平洋側の日高～襟裳地域などでいくつか報告されている (中西 1990, 1999; 石川 2007; 志賀 2008). しかし、太平洋側の胆振地域におけるココヤシの漂着記録はなく、今回が初めての報告となる。

トッカリシヨ海岸は、室蘭市東部に位置する周囲を急崖に囲まれたポケットビーチである。今回発見したココヤシは、汀線からやや内陸側の地点に多数の中国・韓国製の人工物と共に打ち上がっていた。ココヤシは、高さ約18.3cmであり、外果皮の一部は剥落し繊維状の中果皮が裂けて広がっていた。しかし、フジツボや穿孔貝等の付着は認められなかった (Fig. 2).

ところで、本調査地からやや北東方向に位置するイタンキ浜では、2008年7月と2012年8月に各1個ずつココヤシの漂着が確認されていた (菊池富子私信)。大型で比較的認知度の高いココヤシは、一般人の目に

もつきやすく興味・関心を惹きやすい。今後は、漂着記録の乏しい胆振地域にも注目し、継続した調査を行うと同時に、地域住民からも積極的に情報を収集することで、より詳細なデータの蓄積が望まれる。

謝 辞:「イタンキ浜鳴り砂を守る会」の菊池富子会長には、イタンキ浜のココヤシの漂着についてご教示いただいたので、厚く御礼申し上げます。また、本研究は日本学術振興会科学研究費 (若手 (B) 26740061) を使用した。

引用文献

- 石川慎也 2007. 北海道えりも町百人浜の漂着種子と果実. えりも研究 (4): 9-12
中西弘樹 1990. 海流の贈り物-漂着物の生態学. 254pp. 平凡社, 東京.
中西弘樹 1999. 漂着物学入門-黒潮のメッセージを読む. 211pp. 平凡社, 東京.
志賀健司 2008. エスチュアリ (Estuary), いしかり砂丘の風資料館だより (31): 1.

(Received June 14, 2014; accepted July 25, 2014)

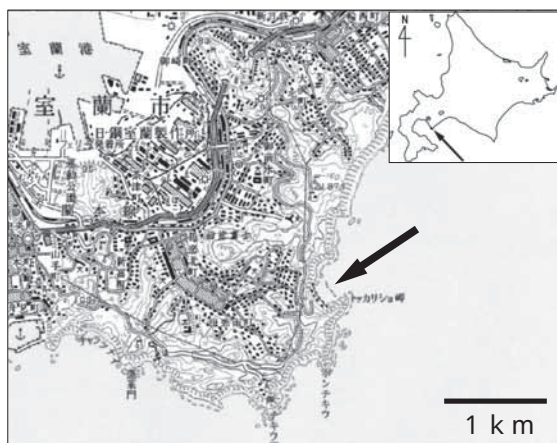


Fig.1 Map showing the locality of Tokkarisho beach, Muroran City, Hokkaido.

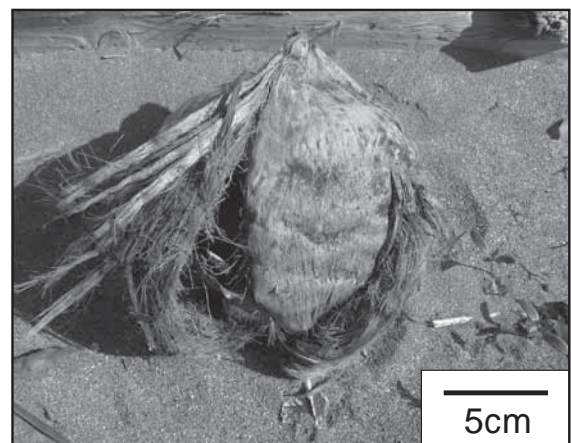


Fig.2 *Cocos nucifera* on the beach.

¹〒004-0006 札幌市厚別区厚別町小野幌53-2 北海道開拓記念館

¹ Historical Museum of Hokkaido, 53-2 Konopporo, Atsubetsu-cho, Atsubetsu-ku, Sapporo 004-0006, Japan

² 〒002-8502 札幌市北区あいの里5-3-1 北海道教育大学札幌校地学研究室

² Department of Earth Science, Sapporo Campus, Hokkaido University of Education, 5-3-1 Ainosato, Kita-ku, Sapporo 002-8502, Japan